シルバー安全だより

第43号
平成23年8月1日
㈳日向市シルバー人材センター
安全・適正就業委員会

健康管理について

委員長
柳　田　悦　子

猛暑が続く中での作業は大変ご苦労が多いと思います。

この季節、会員の皆様の健康管理がシルバー人材センターの適正な就労や活動には大変重要であると思います。日頃からの健康管理について自覚し、十分な休養と睡眠を摂り、作業中のこまめな水分補給や首筋にタオルを巻くなどの熱中症予防対策が安心安全に繋がってくるものと考えます。

私たち、シルバー人材センターの会員は高齢者の「生きがいづくり」や「健康づくり」のために自己管理に努め、事故防止に努めていく必要があると思います。常に様々な場面での健康管理について会員ひとりひとりが意識を持ちながら活動することがシルバー人材センターへの信頼を得るのではないかと思います。「健康管理」こそがセンターを支える源であり、楽しく明るい会員皆様の「生きがいづくり」になるのではないでしょうか。

安全パトロール　4/14・5/10・6/9・7/6　実施する!

除草班は2人のコンビネーションで
スピードあるキレイな作業を!

草刈班は飛散防止を確実に!

緊急雇用班は先輩を見習い、
これからの糧になるよう!

安全就業しましょう

那須藤子 委員

暑い日が続いております。みなさんお元気でお過ごしでしょうか?

シルバー人材センターの方達はこの暑さに負けないで、発注者から頂いたお仕事を大事に、そして安全第一で就業していると思います。安全パトロールで現場に行きますが、みなさんが互いに知恵を出し合い、事故の無いように気をつけて作業しています。これからは熱中症にならないよう体調を整え、安全就業に努めましょう。そして無事故を目指しましょう!お願いします。

剪定班は整理整頓や看板設置を
しっかりと!ミーティングが大切!

7月6日安全パトロール実施!!

知識英明 委員

屋外作業が雨で中止の為、施設管理3ケ所(駅周辺公共施設・大王谷運動公園・財光寺駅)を巡回しました。日向市民が利用する公共施設の為、パトロールの途中、発注者より作業後の状態が悪いとの苦情が2件あり、対応に廻りました。

1件目は剪定作業で、発注者の意向が業務担当から会員に十分伝わってなく、会員が別々に発注者に確認に来て日程もなかなか決まらず、事前に切らないでほしいと言ってあった木を切られていたというものでした。今後、発注者との打ち合わせはリーダーが行い、ミーティング時発注者の意向を全員に伝えて理解してもらい作業を行うようにして下さい。

2件目は、城山墓地内の草刈作業中、はねた砂利や土が墓石内に散乱していたとの連絡でした。このケースは、状況判断があまいと言わざるを得ません。墓石に飛ばないように草刈機の方向に気を使い、もし散乱していたら後処理をきちんと行って下さい。

これからも暑い日が続きます。熱中症対策を十分行ない、ゆとりをもった安全就業をお願いします。

自走式芝刈機技能講習会 5/11御鉾ヶ浦公園で実施する。

皆で繁忙期を乗り越えよう!

副委員長
河 野 政 和

毎日暑い日が続いております。

体調に充分注意し作業しているでしょうか?時節柄、色々な作業に追われているようですが、何時も安全が一番です。特に、自走式芝刈機の取扱いについては専門的知識も必要となる為、機械のメンテナンスも含めて5／11に講習会を実施しました。身の安全、事故防止に努め、そして発注者の方々に喜ばれる仕事をすることが大切だと思います。まだまだ暑さが厳しいですが、健康に留意しみんなで暑い夏を乗り越えましょう。

傷害事故2件発生!!

堀田文作 委員

23年度に入り、早くも傷害事故が2件発生しています。

1件目は女性会員が自転車で横断歩道を渡る際、軽トラと接触するという1歩間違えれば重篤事故になり兼ねない怖い事故。2件目は、女性会員が清掃中にムカデに噛まれるという痛々しい事故です。私たちが就業するうえで、いつどこでどんな危険が潜んでいるか分かりません。余裕を持って、段取りよく現場に向かうようにしましょう。そしてミーティングが大事です。グループが一丸となって発注者に喜ばれるお仕事に努めてください。

新入業務担当職員紹介

川越　裕太

6月から事務局でおせ話になっています。業務担当として現場に出ていますが、炎天下で真剣に作業される会員の皆さんを見て頭が下がる思いと共に自分ももっと努力しようと決意を新たにしたところです。

まだまだ暑い日が続きます、熱中症には特に気を付けましょう。水分と塩分の適度な補給が熱中症予防には効果的だそうです。繁忙期を明るく元気に楽しく乗り切りましょう。

Yell ～エール～

「熱中症を防ぐために…」

興梠　亜希

熱中症患者のおよそ半数は高齢者（65歳以上）です。高齢者は、体内の水分が不足がちであり、暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しています。のどの渇きを感じなくてもこまめに水分補給したり、暑さを感じなくても扇風機やエアコンを使って温度調節をするよう心がけましょう。

＝今回のエール＝

『節電をするあまり、熱中症にならないよう注意しよう』